

2年生が九九名人をめざしていることは、49号で紹介した。途中で学級閉鎖があったので、実質は2週間程度が過ぎたところ▼最近では2年生が校長室に来てくれなくなってしまった。来客があつたり、外へ出かけていることも多いので、期待されなくなってしまったのかもしれない。聞くところによると、2年生の子どもたちは、とにかく出会った先生を捕まえて九九を聞いてもらっているらしい▼そして、さらに驚くべきことを聞いた。既に何人かの九九名人が誕生しているそうだ。しかもその子たちが、11の段、12の段を作って唱えているという。そんな話を聞いた次の日の朝、たまたまその一人である女の子に出会ったので、尋ねてみると、11の段に挑戦していると聞いた▼一人の子が、面白いことを始めると「それいいね!」と広がっていくのは素敵なことだ。5年生美化委員会のお掃除大作戦と同じように、「勇気の連鎖」と名づける。わたしにとっては、「負のスパイラル・負の連鎖」の対義語は、「勇気の連鎖」なのだ▼その2年生、今日は1年生と力を合わせて、収穫したサツマイモを使って、「サツマイモのごはん」作りに挑戦した。そのおすそ分けをおにぎりにして職員室まで持ってきてくれた。一生懸命握ってくれたのであろう。お米とサツマイモがぎゅぎゅっと詰まったおにぎりは格別に美味しかった。ごちそうさまでした。